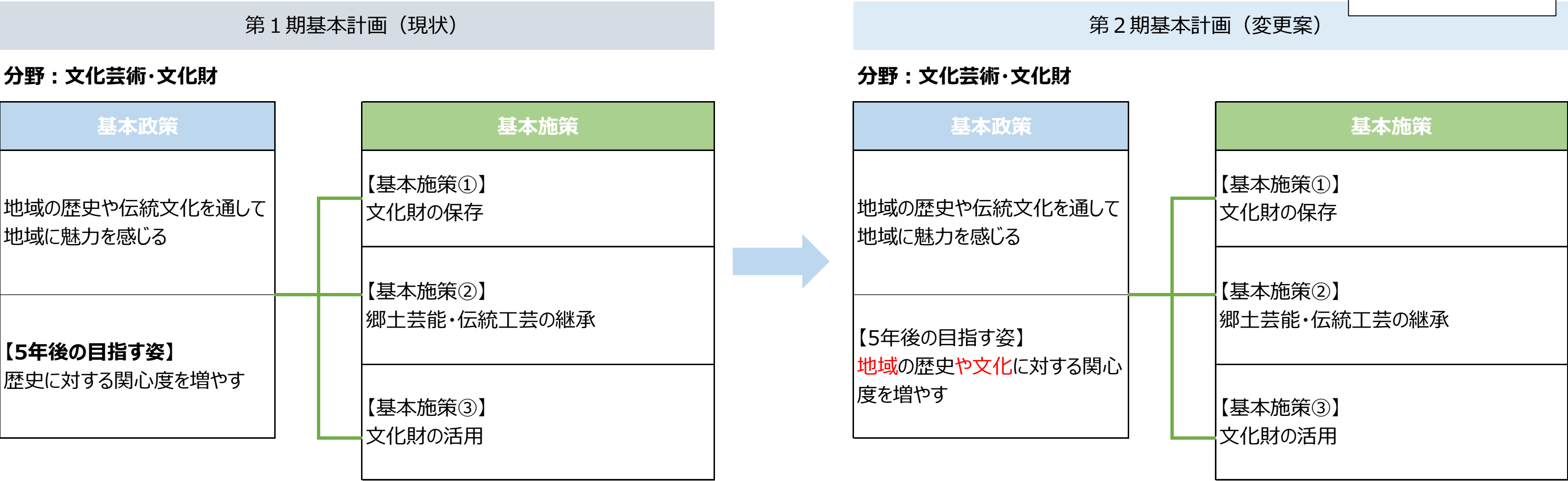
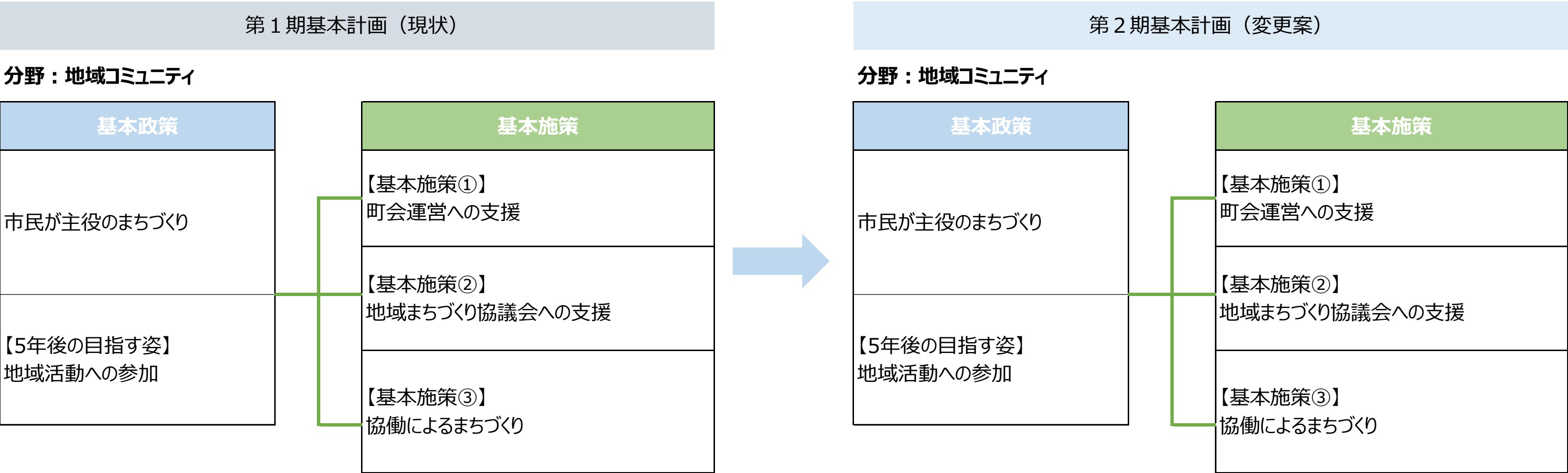




◆ロジックの設定の考え方

項目	ロジックの説明	ロジックの変更理由 (変更する場合のみ記入)
5 年後の目指す姿	地域の歴史、文化の継承を支えるため、市民が学習や体験の場に参加するなど、魅力ある資源として、自分たちのまちの歴史や郷土芸能に関心を持つことを目指します。	「歴史に対する～」では、日本史・世界史など表現が大枠すぎるようにも見えるため、基本政策にある表現に近づけるため、「地域の」と「文化」を追記した。
基本施策①	文化財を良好な状態で管理できる環境を整備することで、市内の歴史資源、文化資源を適切に保存し、後世に残していくことを目指します。	
基本施策②	市民と協力し、後継者の育成や支援をしていくことで、地域で守り継がれてきた郷土芸能や伝統工芸が途絶えることのないよう継承していくことを目指します。	
基本施策③	市民が郷土の歴史、文化をまちの魅力と感じられるように、文化財の活用事業を充実します。	

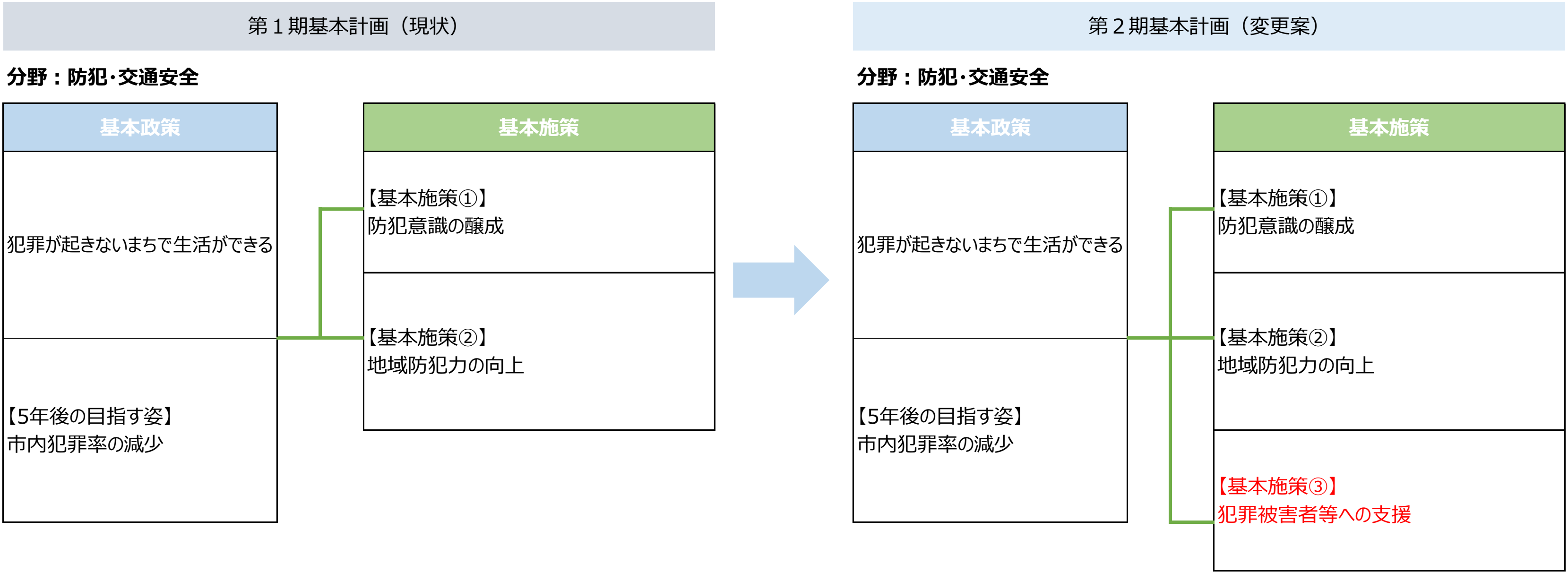
第 2 期基本計画骨子案



◆ロジックの設定の考え方

項目	ロジックの説明	ロジックの変更理由 (変更する場合のみ記入)
5年後の目指す姿	市民が地域でつながり、知恵や力を出し合える環境を醸成するため、地域活動に参加する人を増やすことを目指す。	
基本施策①	地域力向上のため、一番身近なコミュニティである町会運営を支援し、町会の活性化を図ることを目指す。	
基本施策②	町会や地区社会福祉協議会などの単位では解決が難しい地域の課題解決に向けて、地域の様々な団体等の力が発揮できるよう、地域まちづくり協議会の設立や既存協議会の支援を行う。	
基本施策③	協働事業提案制度の活用や協働を継続している団体との連携強化など、市と市民団体等と協働によるまちづくりを推進していく。	

第2期基本計画骨子案



◆ロジックの設定の考え方

項目	ロジックの説明	ロジックの変更理由 (変更する場合のみ記入)
5年後の目指す姿	市民一人ひとりが、日ごろから犯罪を防ぐための対策を行い、地域による防犯パトロールをはじめとした自主防犯活動に加え、街頭防犯カメラなどの防犯環境の整備を推進することで、市内における犯罪率の減少を図る。	
基本施策①	市民一人ひとりが、情報の収集と適切な防犯対策を実施することにより、防犯意識の醸成を図る。	
基本施策②	地域による防犯パトロールをはじめとした自主防犯活動	
基本施策③	犯罪被害に遭われた方々が、再び平穏な生活を営み、安心して地域で暮らせるようになるため、その方々の置かれた状況や心情に配慮した行政手続きの支援や、心無い誹謗中傷による二次的被害への対策が必要であることから、相談窓口をはじめとした支援を行います。	令和6年7月1日から富士見市犯罪被害者等支援条例が制定され、今後、犯罪被害者への支援を庁内及び関係機関等と連携して推進していくため基本施策として新たに位置付けるもの。